
エコアクション21

2021年度 環境経営レポート

2021年4月～2022年3月



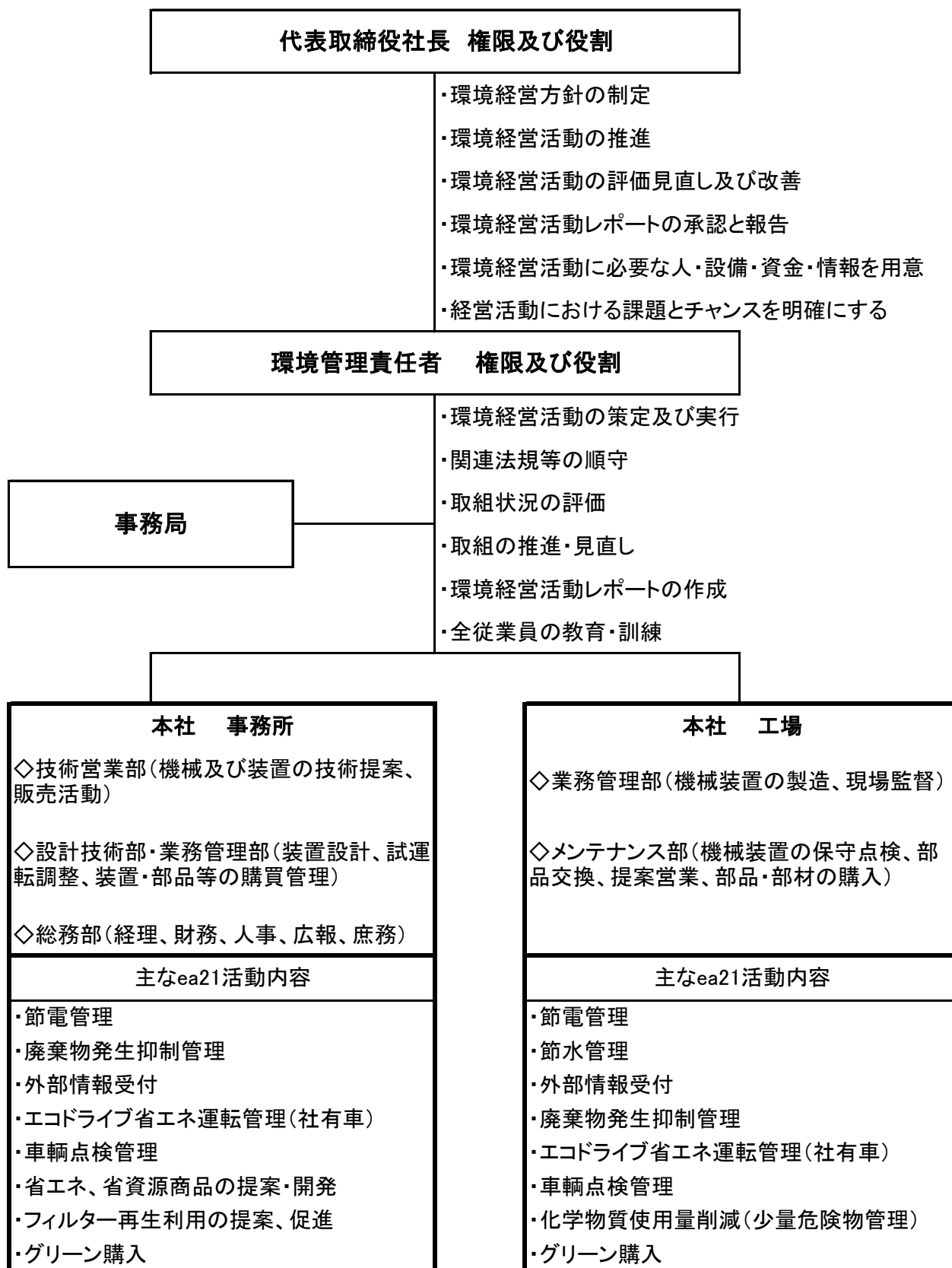
2022年8月25日 作成



目次

表紙	1
目次	2
エコアクション21 組織体制図	3
1. 環境経営方針	4
2. 事業活動の概要	5
3. 環境経営目標及び環境経営計画・活動の内容	6～8
4. 環境負担の実績及び環境活動取組評価	9
5. 次年度への取組み内容	10
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	10
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	10

エコアクション21 組織体制図



2013年8月15日
2020年4月1日

制定
改訂

1.環境経営方針

基本理念

集塵装置株式会社は、”製品やサービスを通じて、お客様にクリーンな環境を提供し、選ばれる企業を目指す”を経営理念に掲げております。地球温暖化など深刻化する環境破壊が人類の最重要課題であると認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

基本方針

集塵装置株式会社は、製造・販売・保守に関わる全ての活動、製品、及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進し、継続的改善に努めます。

- 1 省エネ・省資源型装置販売の開発・改良・提案・販売に努めます
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 資源・エネルギー（電気、化石燃料、水、紙）の削減に取り組みます
- 4 廃棄物の排出抑制に努めます
- 5 グリーン購入の推進に努めます
- 6 SDGsに取り組むことで、2030年に向け持続可能な社会の実現に努めます
- 7 これらを全ての社員に周知し、環境意識の向上をはかります

2013年1月1日 作成
2020年10月1日 改訂
集塵装置株式会社
代表取締役社長 丸山宏樹

2.事業活動の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

集塵装置株式会社

代表取締役社長 丸山 宏樹

(2)所在地

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目6番8号

(3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 丸山 宏樹

エコアクション21担当者 総務部 杉中 優美 渋谷 佳代

連絡先 電話 03-3938-3711 FAX 03-3938-3716

(4)事業内容

公害防止装置、空気輸送装置の設計・製造・販売・保守

建設業許可番号 東京都知事許可(特-2) 第29193号

東京都知事許可(般-2) 第29193号

古物商許可番号 東京都公安委員会許可 第305591208074号

(5)事業の規模

2021年度売上高 6億円

従業員数 26名

資本金 7,000万円

3.環境経営目標及び環境経営計画活動の内容

(1)中期環境経営実績・経営計画目標(2021年度～2023年度)

※中期計画の二酸化炭素排出係数は、2020年度を基準としています

項目	単位	基準値	2021年度目標		2021年度実績		2022年度目標		2023年度目標		
		三年平均値	2021/4～2022/3		2021/4～2022/3		2022/4～2023/3		2023/4～2024/3		
二酸化炭素排出量	kg-CO2	72,388	基準値比	-0.54%	基準値比	-6.39%	基準値比	-1.23%	基準値比	-3.30%	
			72,000		67,763		71,500		70,000		
内訳	電気使用量	61,794	基準値比	0.33%	基準値比	8.34%	基準値比	-0.48%	基準値比	-1.28%	
			62,000		66,949		61,500		61,000		
	ガソリン使用量	ℓ	9,902.5	基準値比	-0.03%	基準値比	-29.00%	基準値比	-0.53%	基準値比	-1.04%
				9,900.0		7,030.8		9,850.0		9,800.0	
軽油使用量	ℓ	5,332.2	基準値比	-0.60%	基準値比	-0.80%	基準値比	-1.54%	基準値比	-2.48%	
			5,300.0		5,289.6		5,250.0		5,200.0		
総排水使用量	m ³	419	基準値比	-4.53%	基準値比	-1.19%	基準値比	-5.73%	基準値比	-6.92%	
			400		414		395		390		
化学物質使用量	kg	88.5	基準値比	1.69%	基準値比	-11.64%	基準値比	-1.13%	基準値比	-3.95%	
			90.0		78.2		87.5		85.0		
産業廃棄物排出量(リサイクル含)	t	25.3	基準値比	2.77%	基準値比	-59.29%	基準値比	-1.19%	基準値比	-5.14%	
			26.0		10.3		25.0		24.0		
一般廃棄物排出量	t	1.19	基準値比	0.84%	基準値比	5.04%	基準値比	-0.84%	基準値比	-2.52%	
			1.20		1.25		1.18		1.16		
フィルター再生利用の受注件数	件	18	基準値比	0.00%	基準値比	-11.11%	基準値比	5.56%	基準値比	11.11%	
			18		16		19		20		

◆基準値は2018～2020年三年間の平均値を使用 ◆二酸化炭素排出係数(電気)：0.499kg-CO2/kWh(2020年度・グローバルエンジン)

(2) 環境経営計画の内容

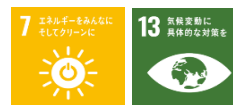
1. 二酸化炭素排出量(電気)の削減

- 昼食時の消灯を徹底する
- 昼食時のエアコンオフを徹底する



2. 二酸化炭素排出量(ガソリン)の削減

- アイドリングストップを徹底する(車内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導



3. 二酸化炭素排出量(軽油)の削減

- アイドリングストップを徹底する(車内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導



4. 総排水量の削減

- 5月～10月の使用をシャワーにする(入浴は控える)



5. 化学物質使用量の削減

- 在庫の見直しによる購入量の抑制



6. 産業廃棄物排出量の削減

- リサイクル排出量(端材等)の再々利用する
- 収集場の廃棄物(一般・産廃)区分をはっきりとする



7. 一般廃棄物排出量の削減

- アスクル梱包材の業者引き取りを継続する
- 使用済みカップ麺容器を圧縮し、廃棄をおこなう



8.省エネ・省資源型装置の開発・改良提案・販売



■集塵フィルターの再生利用の促進活動

9.紙の使用量の削減



- PCやコピー等の印刷は、両面又は縮小印刷等を用いる
- コピー機入れ替えにより、印刷機能増加
- 購買業務の見直しで社内発注書のペーパーレス化
- 顧客への提出資料(取扱説明書・図面等)の紙からCDへ

10.グリーン購入の推進



- 一般購入品のグリーン購入への切り替えを推進する



～活動内容～



会社ホームページにSDGsページを新設いたしました



室内温度の管理 エコドライブの徹底

社用車は低排出ガス車を



エネルギー消費削減の啓蒙を図っています

地域貢献活動の一環として、毎月1回事務所周辺の清掃活動を行っています

4.環境負荷の実績及び環境経営活動取組評価

項目	単位	基準年度	期間目標	期間実績	評価	
		2018.4～2020.3	2021.4～2022.3			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	72,388	72,000	67,763	目標達成しているが、今後も二酸化炭素排出削減に努めていく。	
内 訳	電気使用量	kWh	61,794	62,000	66,949	年目標には届かなかった。次年度は、工場に導入したLEDにて数値削減が出来るよう期待する。
	ガソリン使用量	ℓ	9,902.5	9,900.0	7,030.8	次年度は、使用量ではなく燃費での目標に変更する。
	軽油使用量	ℓ	5,332.2	5,300.0	5,289.6	次年度は、使用量ではなく燃費での目標に変更する。
総排水使用量	m ³	419	400	414	無駄使いしないよう、今後も意識させたい。	
化学物質使用量	kg	88.5	90.0	78.2	業務繁忙による変動が大きい目標である。	
産業廃棄物排出量 (リサイクル含)	t	25.3	26.0	10.3	昨期の排出量に比べ、落ち着いてきた。	
一般廃棄物排出量	t	1.19	1.20	1.25	コンビニごみの削減を考えたい。	
フィルター再生利用の 受注件数	件	18	18	16	引き続き、広報活動を推進する。	

5. 次年度への取組み内容

(第3項(2)環境経営活動の内容1.~10.)の取組みを継続する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1)環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。
(主な環境法規等： 廃掃法・消防法・東京都環境確保条例)
- (2)関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。
- (3)訴訟も、過去3年間ありません。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

2013年4月から開始した環境経営活動も、9年目に入りました。

今年度は前年と比較して二酸化炭素排出量が若干増加しました。

今後も数値目標に向けて、前進して参りたいと存じます。

課題として、電気使用量の削減があります。

今年度は、工場棟のほか事務棟においてもLEDを導入していきたいと思えます。

2020年10月からはスタートしたSDGsの取組みも、更に深めていきます。

今後も上記課題を含め改善を進め、二酸化炭素排出量削減に努める

所存です。